

令和2年度 事業計画

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、政府、自治体の自粛要請にしたがい年度当初からゴールデンウィークを越えて観光関係事業者の経済活動が停止状態となりました。宣言解除後も引続き県外移動の自粛と県外からの来県自粛要請が続いています（5月26日現在）。

このことから、令和2年度の事業計画のご提案にあたりましても、来訪客の集客誘致や市外での観光客誘致イベントなどがたちまち実施できない状況が当面続くものと推察しており、例年どおりの事業計画策定ができないことを含みおきいただいた中での提案となりますことをご理解くださいますようお願いいたします。

I 公益事業に関わる事業

1 観光まち歩き事業

(1) 「ボランティアガイドと歩こう(年6回)」企画

観光ボランティアガイドが名張市内の名所旧跡や観光スポットを中心にその由緒やエピソードなどを案内して歩き、参加者の名張への好奇心を育み、これまでは詳しく知らなかったこのまちの魅力を伝えていきます。このことで名張への愛着と名張の観光に対する意識を高め、これを拡散してもらえるよう促します。

この企画においては、ウイルス対策のため4月中に一旦中止を決定していますが、以降の開催について、イベント開催基準の緩和や他県の県外移動の自粛解除などのタイミングを計りながら開催を前提に再考したいと考えています。

(2) 観光ボランティアガイドの案内スキルの向上支援

案内依頼のある日々のガイドに対応するため、定期的にガイド間で勉強会を催し、案内スキルの向上を目指していることから、こうしたことに対し講師派遣や会場の確保などにより優遇的な支援を行います。

II 観光客の誘致促進に関する事業

1 アフターコロナプロジェクトについて

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため経営の自粛を余儀なくされた協会員を支援し、離れていた観光客を取り戻すための取り組みを「アフターコロナプロジェクト」として実施します。

県外移動や三重県への来訪者自粛期間において、特別定額給付金 10 万円の一部を市内消費により観光関係事業者支援に充てていただく取組みや、晴れてコロナウイルス禍が落ち着いた時に名張へお見えいただくための企画など、様々な形で発信していくのがこの「アフターコロナプロジェクト」です。観光事業の早期復興と地域の活性化を目標とします。

2 観光客誘致促進事業

(1) 観光パンフレット、リーフレットなど宣伝用の紙媒体の制作と配布

- ・ 観光ガイドマップのQRコードで読み取れる動画、写真データのメンテナンス、更新
- ・ 動画データや写真データを挿入したまち歩きマップの制作
- ・ 観光ポスターの制作
- ・ これら成果品を大量消費をする市などの公共的機関への販売

(2) ホームページやSNSによる情報発信

- ・ 名張の観光情報、イベントのお知らせなどの発信
- ・ ブログ、Facebook、Twitter を利用したタイムリーな情報発信
- ・ 会員へのアカウント情報提供により、自身でHP上のお知らせ更新が行える会員向けページへの事業参画を引続き要請

(3) 観光キャンペーンなどのPR活動の開催と参加

(アフターコロナプロジェクトの一環として位置づけ開催予定)

- ・ 都市圏、近鉄沿線における観光展やキャラバンの開催
- ・ 他の観光関係団体とタイアップして行う観光キャンペーンへの参画など

(4) 観光旅行商品の開発と提案

- ・ 旅行商品の商談会などでの商品提案と商談後の各社への販売促進
- ・ 広域観光を基調とした旅行エージェント向け旅行商品の企画開発と営業活動 … 体験や見学機会のある商品を主力に提案する
- ・ ガイドマップの掲載データなどを活用してビジュアル効果を与える提案を行う

(5) メディアへの情報提供と取材協力

- ・ 三重県が行うメディアとの交流会などへの積極的な参画
- ・ 取材協力と興味をそそる受入れ体制を整える
 - … メディアを対象とする取材ツアーの開催
- ・ 観光情報、写真データなどのタイムリーな提供
- ・ テーマのある効果的な企画に限った新聞、雑誌などへの広告掲載

3 観光関連団体との連携の強化

- ### (1) 広域観光連盟などとの連携を強化し、イベント開催のみならず、旅行企画や観光情報の発信を協力して行います。

- ・ 名張市
 - ・ 三重県、東京事務所、三重テラス、関西事務所
 - ・ 公益社団法人三重県観光連盟
 - ・ 東大和西三重観光連盟、東奈良名張ツーリズム・マーケティング
 - ・ 近畿日本鉄道株式会社、三重交通株式会社 など
- (2) 赤目四十八滝溪谷保勝会との協力体制の確立
- ・ 情報の提供内容や誘致対象などが共通する保勝会の観光客誘致事業と効率的に連携し、観光客にとって一日の来訪で複数の観光スポットが周遊でき観光素材の選択要素もある「市内広域観光」としての魅力を提供します。
 - ・ 3月末にオープンした「赤目自然歴史博物館」をはじめとして、保勝会が取り組む「ニューツーリズム創造事業」の実施に係り、アフターコロナプロジェクトの一環事業として協力体制を築き、滝来訪者誘致のための連携を図ることとします。
- (3) 青蓮寺湖ぶどう組合の設立50周年事業を応援します。
サービス企画の構想組立てや情報発信において協力体制を築きます。
- (4) メディアや旅行会社などとの良好な営業環境を形成し維持します。

Ⅲ 観光客の受入れ案内に関する事業

1 「名張かわまちづくり事業」の推進

国土交通省が黒田地内で引き堤事業と一体化して実施することとなった「名張かわまちづくり一体型浸水対策事業」に積極的に関わります。このため、昨年度協会内に設置した「名張かわまちづくり推進委員会」における協議を深め、会員はもちろん名張商工会議所や市の関係部署と連携する中で、名張の観光の要所づくりとしての機能を備えた施設の設置を目指し、プロジェクト化して詳細プランを策定します。

2 観光地づくりの第一歩となる取組み

さまざまなお客様をお迎えするにふさわしい美観づくりとまちの活性化対策を名張駅前西口周辺エリアで展開し、旅の印象に残る玄関口の形成に取り組めます。

3 名張の食材を使った事業

- (1) 市の乾杯条例と菓子条例の制定などをセールスポイントに加えた「食フェス」、「街バル」的イベント事業の開催を継続します。
… 令和元年度は、5/3開催の「DON!BARIBAR(呑!ばりばる)」と11/29の「名張嬉来てピリオド」オープニング

- (2) 現在実施している「やしんぼセット」や「和菓子食べ歩き」のリニューアルを行い販売を継続します。とりわけ「和菓子食べ歩き」は、アフターコロナプロジェクトの中で、市内ツアー企画の推奨コースとして位置づけ、一定期間内は「事業者支援仕様」として企画し、市民需要を拡大することに取り組めます。
- (3) ふるさと納税の返礼品受発注委託業務は、協会収益事業として大きな位置づけとなってきました。また、コロナ対策での自粛ムードの中、国内通販事業が比較的好調であることもあり、引続き新商品や季節限定商品などを中心に市へ提案し、収益の拡大に努めます。

4 地域イベントへの協力

地域や市内の各種団体が開催するイベントに対して事業貢献を進め、協会が持つ情報発信力を利用して来場者数の増加や活性化につながるよう協力します。(ウイルス対策のため変更する場合があります。)

- ・ 名張川納涼花火大会 (実行委員会事務局)
 - … オリンピック開催を見据え 10 月 31 日(土)に開催決定していた大会は中止。無観客などによる代替え開催を準備中。
- ・ 八日戎 (福娘選考事務とはまぐり入り粕汁のふるまい)
- ・ 松明調進行事 (一般応募者の取りまとめ事務)
- ・ 名張桜まつり、鮎バトル、隠街道市、名張秋まつりなど、市内イベントや伝承行事への参加協力と情報発信事務

5 外国人観光客の受入れ

東京オリンピックや大阪万博を見据え、三重県外国人誘致促進協議会や東奈良名張ツーリズム・マーケティング (ENN) など、広域的な受入れ体制によって誘客する事業に名張へのツアー提案をする形で参画します。

6 情報の収集力、発信力の向上と案内所機能の充実

多様化するお客様のニーズに応えるため、タイムリーな情報提供ができるインフォメーション体制を引き続き進めます。

- ・ 名張産業振興センター「アスピア」内 事務局
- ・ 名張駅前案内所
- ・ 青蓮寺湖ぶどう組合 山ゆり案内所
- ・ 赤目ビジターセンター「エコツアーデスク」との発信機能の連携

IV 会員事業と協会運営に関わる事業

1 協会運営ビジョンに伴う事務事業の実情に沿った部会活動

運営ビジョンに沿って設置した部会制度について、とりわけ協議内容が理事会の決議事項と重なることが多く招集機会のない総合戦略部会と企画開発部会については、その役割を整理します。

会員交流部会、女性部会については、それぞれより機能しやすい体制とするため、事業目的を絞り込み協議内容を明確化するなどし、会員参加による事務事業を計画した中で実践していきます。

また、地域の社団法人として協会が果たすべき役割を果たし、市民から信頼を寄せられる安定した協会運営を目指します。

2 協会版「観光戦略」の策定と実践

市が2018年に策定した「観光戦略」における事業進捗が芳しくないことから、改めてより観光客のニーズに沿ったもの、会員個々の事業益となりうるものを協会版として戦略化し、具現化しやすいものから市と調整しながら実践していくよう取組みます。

3 会員特典の追求

現在実施している協会ホームページ上のアカウント情報の提供をさらに会員に勧め、これによる新たな観光素材の創造に期待するとともに、この投稿掲載を反映した旅行商品化やふるさと納税返礼品の新商品化を進めます。

また、会員対象のスキルアップ研修や学習会などを開催し、「観光マインド」の形成を促すこととします。

こうした機会を通じてさらに会員間交流を深め、会員特典のイメージを高めていくこととします。